

Acueil News

5月12日 母の日

令和6年5月号(第123号)

編集・発行

特別養護老人ホームアクイール

広報委員 今井

我孫子市岡発戸1498

☎04-7165-6511

子供たちが母に日頃の感謝の気持ちを伝える日です。世界的にさまざまな習慣がありますが、日本では、母の日にカーネーションを送る事が定番となっています。アメリカのプロ野球でも、母の日コードで、ピンクのバット・ピンクのグローブを使用して試合に臨んでいるそうです。アクイールの母の日は毎年カーネーションの鉢植えをプレゼントしていましたが、今年は、ピンクのバラをプレゼントしました。

バラは造花(おしゃれに言うとアーティフィシャルフラワー)ですが、今のアーティフィシャルフラワーは、本物の生花と見分けがつかないくらい良くてできています。枯れてしまう本物の花と違い、いつまでもきれいな状態で飾る事ができるので、来年もまたアーティフィシャルフラワーをプレゼントしたいと思います。



ご入居者に聞いてみました。
どんなお母さんでしたか？



武井典子さんのお母さん(たかさん)
7人の子どもを育てました。農家。
はっきりものを言う人だったけど優しいお母さんだった。

布施紀久江さんのお母さん(しげさん)
7人の子どもを育てました。苦勞人生の人。
早くに父が亡くなったので、縫物の仕事や買い物代行のお仕事をしていました。

西川美恵子さんのお母さん(みきえさん)
実家は琵琶湖近くのお寺。
わたしは、未っ子で母からも父からもおじいちゃんからも、ものすごく可愛がられました。父が早くになくなったので、母は朝からお寺の掃除やらなんやら忙しい人でした。

岡田和子さんのお母さん(よしえさん)
田畑をやって、大根やのらぼう菜をつっていました。大根は「たくあん」にして近所の人や都会の親戚に配っていた。お母さんとの思い出は・・・夕飯までに帰らないで遊んでいてよく怒られた。

細田もとさんのお母さん(いちさん)
利根町羽根野
家は農家でしたが、お母さんは「もんぺ」を履いたことはなくいつも着物姿だった。農家の仕事はやらないで、近くの堀にいる魚を捕って干したりしていた。毎日、近所の親がいない子ども達を家に呼んで、芋をふかしたり、食べ物をごちそう食べさせていた。

渡邊得子さんのお母さん(静野さん)
6人の子どもを育てました。荒物屋さんを営んでいたのでお話上手で誰からも好かれた母でした。

5月のゴールデンウィークはお天気に恵まれました

アクイールの敷地内は、散歩するご入居者・家族・職員の姿がおおく見られました。今年は、あっという間に桜がおわってしまい、同じくアクイールの坂のつつじも満開になったと思ったら一瞬でおわってしまいましたが、丁度良かつつつじの満開に立ち会えたご入居者もいました。「鮮やかな色のつつじを見ると元気になる」「気持ちが良いね」とお話をしながら歩きました。関東地方の梅雨入り予定は、6月7日ごろだそうです。今のうちに気候が良い日は、出来るだけ外気浴をして、ご入居者・職員と、心身ともにリフレッシュしたいと思います。



第2回アクイール釣り倶楽部

目的: 釣りを趣味とされていた方、これから釣りをはじめてみたいご入居者と職員の倶楽部です。

場所: 座間養魚場 (全天候型なので雨の日でも大丈夫)

制限時間は1時間

結果・残念ながら2匹しか釣れませんでした。

第3回を予定しておりますので

ご家族の倶楽部入会も

お待ちしております



中央学院高等学校「春の甲子園」ベスト4

おめでとうございます

アクイールのご近所 中央学院高等学校が全国ベスト4になりました。その後も休む間もなく「春季関東地区高校野球大会」

千葉県2位で出場が決定しました。1回戦は茨城県の常総学院と対決です。7月に入りますと3年生最後の夏の大会がはじまります。夏の甲子園でまた校歌が聴けるといいですね。

アクイールの裏口を出ると、選手たちの活気ある声を聞くと私たち職員も元気をもらいます。

がんばれ 中央学院



行事のお知らせ

毎年、夏に開催しておりました「アクイールの夏祭り」ですが、近年の夏の異常な暑さを考え今年度から「秋」に開催することになりましたのでご報告いたします。

まだ、細かい事は決まっていますが、夏まつり同様、ご入居者・ご家族・近隣の方々に楽しんでいただけるようにと考えております。

食品の持ち込みについての おねがい



アクイールでは食中毒予防強化月間として

6月1日～9月30日まで、食品の持ち込みをご遠慮させていただいております。気温が上昇しますこの時期は、食中毒の原因となるウイルスや細菌の働きが活発になります。食中毒の発生を予防し、ご入居者の健康を管理する上でご協力をお願い致します。ご不明な点がございましたら、担当者までご連絡下さい。

担当者: 服部・金井

